



2024年 2月 7日  
第120号

# JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川 一実  
編集 情宣 担当  
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 申11号 「2024年3月ダイヤ改正」に関する申し入れ 団体交渉を行う⑩

1 1. ダイヤ改正に関わる運転設備や出改札機器、車両機能の整備は、ダイヤ改正前までに完了すること。

【会社回答】必要な設備等は整備していく。また、必要な周知は行っていく。

組合側	会社回答
<u>現時点で、準備が間に合わないことは無いか？</u>	<u>現時点で把握している分については、準備は間に合うと認識している。</u>

**確認！**

1 2. ダイヤ改正に関わる教育・訓練は、ダイヤ改正前までに全社員に周知・徹底すること。

【会社回答】必要な教育・訓練は実施していく。

組合側	会社回答
<u>関係箇所における、全社員への教育・訓練は間に合うということでしょうか？</u>	<u>鶴見線オフィスで議論させていただいている部分も含めて、ダイヤ改正までに必要な教育・訓練は実施していく。</u>
危惧しているのは、ワンマン運転に移行する鶴見線オフィスに関してだ。社員とのコミュニケーションを図り、「訓練を受けたい」等のリクエストを可能な限り受け付けていただきながら、コミュニケーションを図っていただきたい。	<u>大きな変化点であることは重々承知している。支社としてもしっかり注視していく。何かあれば、管理者に申し出ていただきたい。</u> 万全な体制で、ダイヤ改正を迎えたいと考えている。

**確認！**

1 3. 車両関係の首都圏本部における労使議論の際に、責任ある回答を示せるよう、

横浜支社としても体制を構築すること。

【会社回答】引き続き関係本部・支社と連携していく考えである。

組合側	会社回答
組織再編の過度期であり、実際にA運用が支社で車両案件が首都圏本部というねじれが発生している。申し入れをしているが、責任ある回答を示せるよう、支社としてバックアップをしていただきたい。	仰る通り、首都圏本部に集約されている車両の部分と、車両運用は横浜支社で作っているが、そこは話があれば運用計画上で横の繋がりがあある。 <u>車両センターは首都圏本部だが、業務は実際に現場でやり取りしているので、連絡があればしっかりやっていく。</u>
首都圏本部で提案を受けた内容で、首都圏本部との議論の中で「それは横浜支社で」と言われてしまったことが現に発生しているので、ここは汲んでいただきたい。	承知した。

**確認！**

**全13項目終了！以降は区別交渉になります！**